

しまなみへは自転車で行こう  
シクロツーリズムしまなみ

# 2015 事業報告



シクロ・ツーリズム  
しまなみ 

CycloTourisme Shimanami

## 2015 年度総括

しまなみ海道サイクリングを楽しむ自転車旅行者。ビギナーからエキスパートまで来訪者は重層化する。「何度走っても飽きないコース」、「次は離島へ渡ってみたい」と旅のバリエーションは多彩で、リピート率は高い。そして、ここ数年は「自転車」を核にした施策の先進地としても大きな注目を集めている。当会には自転車まちづくりの取り組みを聞こうと、全国各地からヒアリングに訪れてくれる。来訪者の関心が高いのは、住民参加型で取り組んだ基盤整備だ。住民の善意が形になった「自転車の休憩所“サイクルオアシス”」、旅人と住民をつなぐ「ガイドツアー」、そしてまちの玄関口に整備した「ゲストハウス“シクロの家”」。まだまだサービスとしては粗削りな面もあるが、どの事業においても、自転車旅行者と住民の温かい交流を育む姿勢は一貫している。

自転車が走りやすい道路空間づくり、船やバスを活用した二次交通の充実が進む。自転車旅行独特のニーズに寄り添う民間のサービスも日進月歩。宿泊施設や土産物開発の現場は自転車旅行者のニーズに寄り添うサービスが創意工夫されている。こうした需要に応える取り組みを真にまちの力に変えることが命題だと感じている。実際、「歩行者・自転車・自動車」の道路再配分は、安全な交通まちづくりに効果をあらわしている。「サイクルトレインしまなみ号」からはじまった公共交通サービスの変化を基軸に、域内の船・バスなどの利便性が高まれば、住民の足としてのサービス再編につながる可能性がある。「訪れてよし・住んでよし」という言葉があるように、住民の生活の質向上にもつながる取り組み。今、盛んに叫ばれる地方創生への道は、ここに拓けるのではないだろうか。

そんな思いで取り組んだ2015年度事業についてここにご報告いたします。ゆっくりと、ただ着実に自分の足で進む「自転車」。まさに、地方に求められる「自立」と重なるもの。道のりはありますが、自転車の持つ力に期待し、地域の連携強化を促したいと願っています。会員の皆様におかれましては、ご意見・ご批評いただきますとともに、引き続き、ご指導・ご鞭撻の程、よろしく願いいたします。

## 2015年度 事業報告書

### 1. まちなか移住交流推進事業

U・Iターン希望者がお試し居住できる「シクロクルー」をしくみ化。交流サイクリングツアー、空き家見学会、仕事づくり研修などを通して、まちなかへの移住・定住を支援。

#### ① シクロクルーの受け入れ

コール相談→日帰り訪問→滞在旅行→「お試し居住」の段階的受入。  
移住を検討するステージごとの支援。



#### ② 交流サイクリングプログラムの企画・実施

港町として栄えた市内中心部、内海に抱かれた臨海線「はまかぜ海道」をめぐるツアーのアーを企画・催行。



・お遍路サイクリング  
4/26(日)  
参加者:20名

・手しごと現場体験  
6/14(日)  
参加者:10名

・おんまぐ体感ツアー  
8/1(土)  
参加者:17名

・エコツアー  
10/3(土)  
参加者:17名

・里山ツアー  
11/14(土)  
参加者:6名

#### ③ 仕事づくり研修会の実施

今治の風土をいかした観光産業、ものづくりなどの担い手を招聘しての研修会開催。

●研修会 4回 ●参加者 延べ28名



#### ④ 空き家見学会・暮らし相談会

お試し居住者「シクロクルー」の希望者には住環境、生活環境を情報提供する相談会を実施。



お試し居住できる拠点が整備され、個性が高い移住・長期滞在者のニーズに対応するしくみができた。住民や先輩移住者との交流により、今治市で働き、暮らす魅力を直に伝えられることが意義深い。一方、仕事や住まいの情報については、知人・ネットワークを活用しての対応で、制度としては途上である。個別対応力（移住コーディネーターの養成など）を高めながら、多様な関係機関との連携構築が求められる。

### 2016年度の取組 ★まちなか移住交流推進事業

- ① お試し居住「シクロクルー」の受入
- ② 交流サイクリングプログラム等の企画・実施
- ③ 中心市街地の資源発掘と可視化

## 2. 今治市中心市街地再生事業「まちなかサークルツーリズム推進事業」

市街地再生ビジョンに向け取り組んできた事業を継承するとともに、自転車先進都市の玄関口機能強化や1泊するまちなかのポテンシャルを創出する事業を行った。

### ① 駐輪スタンド「6人のシクロ・ツーリスト」の設置

まちなかを回遊するしかけ「6人のシクロ・ツーリスト」をまちなかの象徴・今治城前に設置(6体の設置完了)。

### ② サイクルオアシスの整備

公募により3軒の追加整備。快適なサイクリングエリアとしてのポテンシャルの創出。



### ③ しまなみ自転車旅の宿(HP)での発信

自転車ユーザーに優しい宿泊施設15施設の把握。体系的なWEB発信。

### ④ JR 今治駅前での自転車安全運転宣言者の獲得

「サイクルトレインしまなみ号」乗車客へカフェ利用券発行。まちなかを回遊するサイクリストへの安全啓発を展開。



「6人のシクロ・ツーリスト」、「サイクルオアシス」がまちなかエリアに集積し、まちなかを回遊する動機付けを構築できた。まちなかには自転車旅行者を積極的に受け入れたい宿泊施設も多数あり、その情報をHPなどにより発信できたことで、まちなかに1泊する行動変容を誘発する一歩が踏み出した。回遊・宿泊に直結するプログラム及びツール構築が課題で、次年度以降の取り組みにつなげたい。

サイクルトレイン乗車客のドリンクタイムを利用した「自転車安全運転宣言活動」は自転車のルールやモラルを対話形式で確認するしかけとして取り組んだ。トレイン利用者の多くがJR波止浜駅で降乗車する中、JR今治駅での下車を促す情報発信が課題である。

## 2016年度の取組 ★今治市中心市街地再生事業

- ① まちなか回遊促進事業
- ② 港・船の利用促進事業
- ③ 自転車先進都市・今治の人材育成

### 3. 日本財団助成事業「船と自転車がつなぐ地域活性の核づくり」

～伝統産業と新しい可能性が織り成すしまなみの暮らし～

村上水軍の活躍、製塩とその輸送のために発展した海運・造船など、海に支えられた暮らしをベースに、自転車で渡れる「しまなみ海道」を活用した新事業を展開した。

#### ① ランニングバイクの遊び場

夏休みのスタートと合わせオープンした広場には多くの親子連れが訪れた。瀬戸内の海の文化、魅力を遊びを通して体感いただけた。子どもの声が響く空間づくりに、地元住民の評価を得た。

日時：2015.7/19（日）～9/27（日）11:00～14:00 計10回

人数：幼児～小学校低学年 延べ 約800名



#### ② しまなみランニングバイク選手権の開催

上記ヒロバ活動を訪れる幼児の目標となる選手権を開催。水軍の海城、潮流などの瀬戸内の海を体感できるサーキットコースを整備し、開催した。県外来訪も得て、大きな集客効果を発揮した。

日時：2015.11/3（火・祝）9:30～15:00

人数：選手（2歳～6歳の未就学児）180名・一般来場700名



#### ③ シーカヤック体験の企画・開催

瀬戸内海の潮流を体感できるアウトドアカヤックプランを造成。

90分体験ツアー/1DAYトリップツアーを催行した。

日時：2015.7/18（土）19（日）25（土）26（日）

8/8（土）9（日）22（土）23（日）

人数：延べ80名



#### ④ みんなでつくる博物館プロジェクトの企画・開催

地域と自転車来訪者が一緒になって、人と海の新しい関係を考えることを目的に「企画」⇒「資料収集」⇒「展示」を4ヶ月クールで行った。人と海の新しい関係を考える博物館づくりができた。



#### ⑤ サイクリングルートマップの作製とツアー開催

標高1000m以上の山、臨海部海岸線といった鳥瞰的な自然を楽しむ自転車旅行者のルートをもとに学習フィールドに見立て、魅力を発信するマップの作製とマップを活用したツアーを行った。

日時：2016.3/19（土）9:30～15:00 人数：33名

架橋の副作用で航路が途絶えた「波方港」での活動には多様な立場、世代の関心が集まった。数種のプログラムを展開したが、市外からの参加もあり、交流・体験・学習活動が進んだ。拠点として活用した「なみかた海の交流センター」は今治市が保有する公共施設の一つであるが、集客効果や賑わい創出の可能性が一定評価され、次年度以降、指定管理者制度を導入しての、民営を検討する方向性が示された。また、地域の専門的なノウハウを集結して取り組んだプログラムのいくつかは、参加者負担金を求めながら継続実施する方向が見え、社会起業家などの協働利用スタイルのしくみのイメージを共有することができた。本助成事業による大きな成果と感じている。

### 2016年度の取組 ★自主事業（なみかた海の交流センター管理運営事業）

自転車ヒロバの開催・しまなみランニングバイク選手権の開催

#### ① 自転車旅行博物館の開催

#### 4. 平成27年度愛媛県観光集客力向上支援事業

##### 「交通拠点「港」のゲートウェイ機能の回復による交流強化事業」

「しまなみ海道」「とびしま海道」さらには、今治市から松山市・道後へ続く海岸線ルートの中核として、起点・中継点・終点の機能を有する施設整備を進めた。

##### ① 交流スペース機能拡充のコンセプト設計

マーケット分析とエリア調査を行い、団塊の世代への健康志向プログラム、女性へのアウトドア志向プログラムを設計する方向性を共有。

##### ② プログラムや商品の開発

本施設の立地条件をいかし、サイクリングと周辺の自然資源を活用したアウトドアプログラムの創出を目指した。保健師やカフェ運営経験者の参画を仰ぎ、専門家として助言してもらいながら、次年度以降のスタッフ育成を進めた。

##### (1) カフェメニューの開発

地産地消を基本に栄養バランスなどに配慮したメニュー開発を進め、次年度以降の有料販売を検討した。



##### (2) 健康増進プログラムの開発

保健師・理学療法士と連携した「しまなみアウトドアフィットネスプログラム」創出を目指した。



##### ③ 施設の改装

現在、使用している「交流スペース」に加え、自転車旅行者と住民が持続的に活用できる空間づくりを行った。定額料金をサイクリストが保有するスポーツバイクを預かり、年間を通して管理する「シクロ DEPO」の機能整備を進めた。



かつての交通拠点「波方港（場）」を活用し、サイクルツーリズム振興に期待される「健康」「交流」を促進する活動を多様な人々の参加により、遂行した。現在、今治市が施策として振興する快適で安心・安全なサイクリング支援、「人・地域情報」をベースにした交流促進拠点として活用している「交流スペース」について、海事産業と観光交流産業「自転車旅行」を融合した交流機能の拡大に資する受入体制整備を進めることができた。また、立地や地域性をいかした新しいしくみ「シクロ DEPO」の機能整備、集客につながるカフェメニューや健康増進プログラムの開発を進め、次年度以降の有料化サービスを検討できた。

**2016年度の取組 ★スミセイ コミュニティスポーツ推進助成プログラム**  
**「サイクリングライフによる住民向け健康増進プログラムの開発スミセイ**

## 5. 自転車回廊の高速道路がつなく島巡り散走〜瀬戸内まるごとサイクルツーリズム構想〜

(第七回「観光資源活用トータルプラン」※3年間の継続事業(終了))

しまなみ・とびしま・さざなみ海道を連続した広域サイクリングロードと捉え、広域エリアでのアクティビティ充実、飲食、バックアップ、宿泊等の受入基盤整備を進めた。瀬戸内まるごとサイクルツーリズム構想の素地が完成した。

### ① 情報発信媒体の作成

3年間の成果物としてとびしま島走マップ、さざなみ島走マップを製作・配布。聖地化された「しまなみ」以外のエリアへの誘客に資するツールができた。エリア内の住民・グループとの日常的な交流がスタート。



### ② ツアー等のアクティビティ充実

瀬戸内を面で楽しむツアーを展開。募集型ツアーとして「アイランドホッピングツアー」の構築、「サイクルポートしまなみ号」の運航により瀬戸内を周遊するツアーモデルを造成。★地域限定旅行業の取得



しまなみサイクルオアシス 69カ所  
今治 34カ所・尾道 35カ所



松山〜今治サイクリング  
はまかせサイクルオアシス総合拠点  
「なみかた海の交流センター」  
四国の南北線、瀬戸内海の先頭に位置する松山地区は瀬戸内海の  
観光を牽引する重要な拠点。多岐にわたる観光資源を積極的にサ  
イクリストと地元住民の交流の場をつくり出す。



しまなみの玄関口・今治駅前  
しまなみサイクルオアシス総合拠点  
「ゲストハウス シクロの家」  
旅人が思い、つづけるゲストハウス！旅の楽しみを  
共有する交流空間！知のひと情報、楽しいサポートを  
旅人の交流の中で生み出すゲストハウス！

### ③ 休憩・交流機能の充実

サイクルオアシス総合拠点として「なみかた海の交流センター」の運営をスタート。ミュージアム機能、カフェ機能をスタートし、住民と自転車旅行者の交流拠点の持続的な運営スタイルを提示。



「とびしま海道」「さざなみ海道」のマップ製作、瀬戸内を周遊するダイナミックな行程でのツアー催行は、聖地「しまなみ」エリア以外でのチャレンジ活動として認知、評価された。特に地域限定旅行業取得により、船の運航を旅行として提供できるしくみが定着したことの意義は大きい。定期船の活用にはハードルがある中、瀬戸内での旅に必須の船の活用について、地元船会社、行政等の理解促進に引き続き取り組みたい。

## 2016年度の取組 ★自主事業(なみかた海の交流センター管理運営事業)

## 6. フェイスブック「しまなみサイクリングパラダイス」運営管理事業

フェイスブック「しまなみサイクリングパラダイス」を運営。「しまなみ海道」の魅力を広く国内外にアピールするとともに、旬で最新の情報を積極的に提供し、誘客促進ツールとして活用した。

### ① カバー写真の更新

サイクリストの聖地としてアピール又は連想するものを使用した。

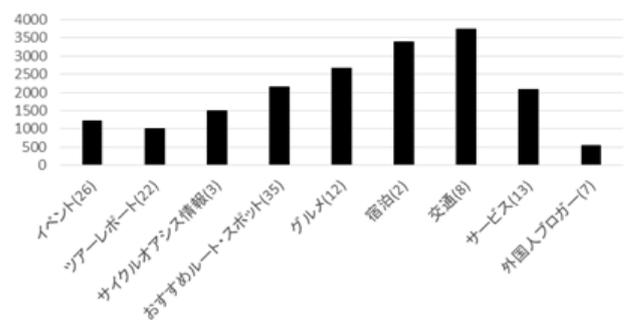


### ② 取材と記事投稿

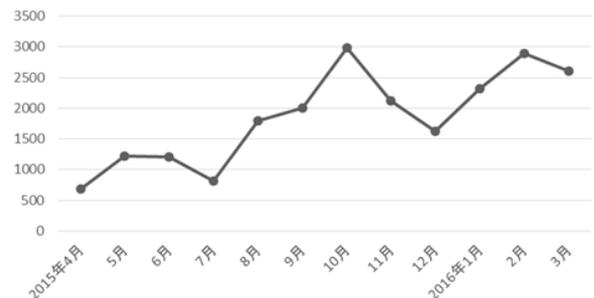
サイクリングのリピーター獲得に結び付き、かつ、ユーザーとの繋がりを深められる記事を配信した。



投稿記事種別平均リーチ数



1投稿あたりの平均リーチ数(月別)



### ③ 運営と分析

「いいね!数」や「リーチ数」が高い投稿を分析し、投稿内容を検討した。

現場取材を丁寧に行い、「走行ルート情報」、「おすすめ立ち寄りスポット・グルメ情報」、「宿泊や交通（フェリーやバスなど）情報」といったサイクリストが必要としている情報を配信。魅力的な写真、臨場感ある文章を用いることで多くのファンを獲得できた。また、サイクリングレベル（初心者・中級・上級者）に応じた情報を意識して、ツアーレポートを配信した。女性、若者やシニア層といったターゲットを意識した投稿、海外インバウンドに向けた情報についてはまだ改善の余地が多く、情報構築の検討を引き続き行い、魅力的なページづくりにつなげたい。

## 2016年度の取組 ★フェイスブック「しまなみサイクリングパラダイス」運営管理事業

## 7. しまなみサイクリング誘客ツアーモデル造成・実施事業

女性ビギナーに向けたサイクリングの基礎知識を提供するとともに、サイクリングの楽しさを伝えるコミュニティを形成し、しまなみサイクリングの市場拡大を実現する取り組みを行った。

### ① ニーズ調査（定量評価）

自転車を生業にわたり愛用する、又は愛用する可能性がある層を仮定したグループ抽出形式のアンケート配布を行った。通勤・通学、買い物といった身近な交通手段への印象から一歩踏み出し、ライフスタイルに自転車を取り入れたいニーズが読み取れた。

### ② ツアープログラムの開発とモニターツアーの催行

アンケート結果を踏まえ、主に3つの視点を踏まえたモニターツアーを催行。

#### ■地域で活躍する女性との出会い

エネルギー充電のプログラムとして、地域で活躍する女性に会う機会を提供。伝統工芸の現場を守る若き女性、心身の疲れを大自然で癒す女性目線のプログラムとの出会いは有意義な時間となった。

#### ■ツアー限定のヘルシーな地産食

新鮮で安全な食材を使うこと、栄養素を効果的にいかすタイミングと調理法、そして語り合いながら食べること。旅を終えて、日常へ戻った際にも参考になる豊かな食生活構築に通じるプログラムを構築した。

#### ■自転車講座の開催

出発前のセルフメンテナンス、パンクなどが起きた際の現場対応について、知識・技術を学びたい女性が増えている。自転車の「メカニック」面をサポートする時間を提供した。

女性が求める価値観やライフスタイルを捉え、自転車女子のコミュニティ創出を目指す取り組みとなった。ヘルシーメニューの提供、大自然の中で行うヨガなどは、地域に指導者がおり、しまなみエリアで楽しめるブルーツーリズム、グリーンツーリズムに次ぐ新たなプログラムとしての完成度が高い内容を構築できた。

## 2016年度の取組 ★自主事業「地域限定旅行業・シクロ女子旅2016」

## 8. ウェルカムしまなみ推進事業

サイクリングのインバウンド観光の現状を踏まえ、宿泊施設等で活用できるコミュニケーションツールの作成、研修会の開催により、外国人サイクリング旅行者への対応への不安を軽減する事業を行った。

### ① 海外サイクリストの受入環境実態調査

しまなみ海道沿線の観光施設（道の駅）及び宿泊施設（しまなみ自転車旅の宿【今治市】）を対象に、外国人サイクリスト旅行者の受入の現状についてアンケート調査を行った。

### ② 海外サイクリスト受入施設に対する指導、助言

現場で即、活用できるツールにするため、コミュニケーションツール製作前に、研修会を開催した。

日時 平成28年2月18日（木）13:00～15:00

参加者 25名（19施設）



### ③ 外国人サイクリング旅行者受入コミュニケーションツールの作成

レンタサイクル、二次交通、荷物搬送、サイクリング旅行のセーフティネットなどのサイクリング旅行独特のニーズに対応できるツールを完成させた。

外国人サイクリング旅行者への対応の不安を軽減するツールとして活用されるよう、引き続きコミュニケーションをとっていくことが重要だと感じた。

## 2016年度の取組 ★自主事業「宿泊業・ゲストハウス シクロの家」での活用

### ★自主事業「しまなみ自転車旅の宿」での活用

## 9. 国道11号等自転車利用者意見交換会実施業務

魅力的なサイクリングルートを可視化することで、サイクリストの周遊分散化を図り、滞在型観光エリアを創出することを目指した。国道11号線エリアのマップ作製、ルート上での安全啓発イベントを行った。

### ① 国道11号線マップの作製

「瀬戸内しまなみ海道」とつながる国道11号線において、サイクリング客の利便性向上に資する「サイクリングマップ」を作成した。ルートの可視化、広域的な自転車利用ネットワークにつながるものとなった。



### ② 国道11号等自転車利用者意見交換会実施

一般国道11号線等で繋がる愛媛県東予地区（今治市、西条市、新居浜市、四国中央市）において、自転車利用者と地区内を走行するイベントを開催し、自転車利用の可能性を意見交換した。

日 時：平成27年11月23日（月・祝）7：45～16：00

距 離：約45km

参加者：30名



「しまなみ海道」にはサイクリング旅行者が急増しており、その独自性ある環境からリピーター定着がみられる。そんな中、新たな訴求力あるルートを求める潜在的ニーズがあり、周辺の一般国道等とのハード・ソフト両面での連携が求められている。一般国道11号等における活動を通して、自転車の安全で快適な整備、エリア内の「道の駅」の活用策への提案があり、今後の取り組みへのヒントを得ることができた。

## 10. 「別子銅山産業遺産」を巡るサイクリング「遊学ラリー」開催事業

東予管内に広がる別子銅山産業遺産について、サイクリングをしながら巡る遊学ラリーを実施。高校生を中心としたガイド参画により、参加者と地域の交流促進による別子銅山のファンづくりを進めた。

(レンタサイクル貸出) (オリエンテーション) (ラリー出発)



(グループミーティング)



スローサイクリングで本物の別子銅山産業遺産と「食」などの地域資源を楽しんでもらうイベントとなった。ファミリーで参加した子ども達は夏休みの自由研究課題を作成できる配慮を取り入れ、満足度が上がった。高校生を中心としたガイドのスキルをいかした取り組みとなったことは有意義だった。県内外からの参加を募るには、サイクリングで産業遺産を巡る価値の発信が必要だと感じた。

## 2016年度の取組 ★「別子銅山産業遺産」を巡るサイクリング「遊学ラリー」開催事業

### 11. レインボーハイランドカップ第2戦 しまなみランニングバイク選手権2016

自然に親しみながら様々な体験活動ができる「松山市野外活動センター」を舞台に選手権を開催した。芝生広場を活用して、大きな山あり、トンネルありの冒険心をくすぐる特設コースを設置。年齢別のレースを楽しんだ。

日時: 2016.2/28(日)9:30~15:00

人数: 選手(2歳~6歳の未就学児)172名・一般来場700名  
(年齢別のレース)



(ステージイベント・ブース運営)



県内外の来場者に自然の中で様々な体験活動ができる施設であることが周知でき、また、春休み前の閑散期の利用に資する取り組みとなった。松山市内などの近郊からは、野外活動センターにランニングバイクを抱えて訪れる親子連れが見られるようになっている。選手権というイベントに留まらず、芝生広場を活用して、日常的に未就学児がランニングバイクで遊ぶ空間として、利用が定着する可能性を感じた。

## 2016年度の取組 ★レインボーハイランドカップ第3戦 開催事業

## 12. 地域限定旅行業

地域資源の活用、住民との交流を促進するため、ガイドツアーを催行。自転車旅行者のニーズに対応するため、宿泊や交通を組み合わせた着地型旅行商品を造成し、提供した。

### ① 募集型旅行

アイランドホッピングツアー（3. 自転車回廊の高速道路がつなぐ島巡り散走）参照。  
スローサイクリング（1. まちなか移住交流推進事業）参照。

### ② 受注型旅行

個人オーダーメイドツアー、社員旅行等の団体オーダーメイドツアーを企画、主催した。

○内容：しまなみでの自転車の個人旅行を個別にコーディネートした。

実績：平成27年5月12日（火）2名（ペア旅行）

平成27年6月5日（土）1名

平成28年2月20日（土）5名

○内容：自転車旅行などを企画する旅行会社、広告会社などの依頼に応じ、ツアーを行った。

実績：平成27年10月19日（月）（テレコムスタッフ株式会社）

### ③ 委託販売

○JTB しまなみ海道タンデム自転車ツアー

内容：来島海峡大橋、大島での島グルメを楽しむツアーのアテンド。（関西圏からの来訪者中心）

実績：平成27年8月11日（火）4名

### ④ ガイド派遣・オペレーション

旅行会社主催のツアーへのガイド派遣。

○新旅株式会社

内容：台湾人の団体の国内旅行会社へのサイクリングガイド派遣（ツアーアテンド）

実績：平成27年10月8日（木）・9日（金）

○近畿日本ツーリスト株式会社 東京第3教育旅行支店新旅株式会社

内容：暁星中学校（私立男子校）修学旅行へのサイクリングガイド派遣（ツアーアテンド）

実績：平成27年11月11日（水）

自転車を解体せず、そのまま車内に持ち込める「サイクルトレインしまなみ号」の受付事務。

○四国旅客鉄道株式会社 ワープ松山

内容：予約受付・JR波止浜駅オペレーション

実績：春15回・秋25回

2016年度の取組 ★自主事業「地域限定旅行業」

★まちなか移住交流推進事業

### 13. 宿泊業「ゲストハウス “シクロの家”」

「サイクルオアシス総合拠点」としてオープンしたゲストハウス。「JR今治駅」前の立地条件から、今治市の玄関口としての機能、島しょ部から今治市臨海部に拡充する「しまなみサイクルオアシス」の中継点としての機能を意識し、自転車旅行者と住民の交流を促進する事業を展開した。

#### ① 自転車旅行の拠点としての機能

「セルフバイクメンテナンスルーム」ではスパナ、アーレンキー、タイヤレバーなど修理器具を備え、タイヤチューブなどの販売も展開。ゴールした自転車旅行者にはシャワー、洗濯ができる設備が喜ばれた。またコインロッカーに入らない自転車、手荷物の一時的預かりのニーズに対応できるよう、スタッフが常駐した。

#### ② リビングでの情報提供

今治城の城下町を基礎に、今治港を擁する港町として発展してきた今治市中心部に点在する資源を丁寧に発掘し、旅人の伝えるガイダンスの機能強化に取り組んだ。手づくりマップを更新し、来訪者のまち回遊を促進した。

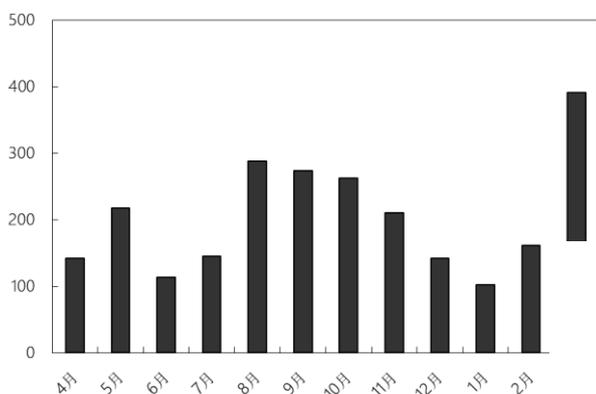
#### ③ まちなか移住交流促進事業の展開

お試し居住空間の提供など（1. まちなか移住交流推進事業）参照。

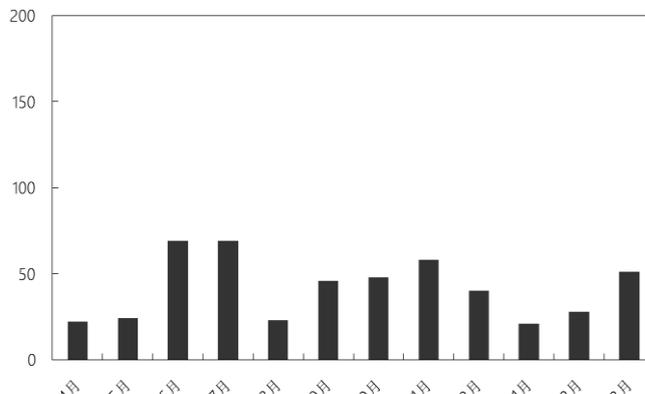
#### ④ 利用者の実際

ゲストハウス宿泊者数は2,449名（2014年度1,281名（8カ月））、サイクルオアシス総合拠点としての一時利用（カフェ利用を含む）は499名（2014年度146名（8カ月））となった。

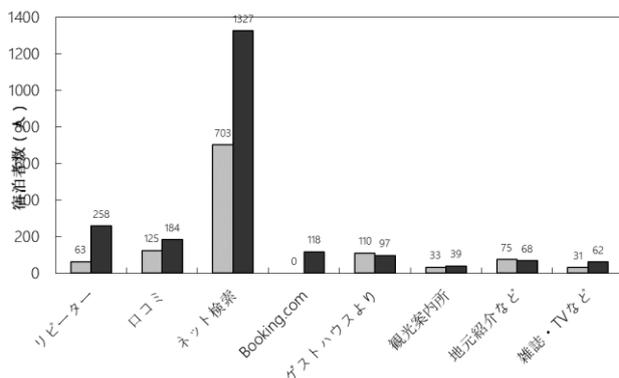
宿泊者数推移（2015年度）



一時利用数推移（2015年度）



#### 〔2015年度宿泊者地域【国】〕



## 1 4. 物品販売業

### ①商品開発

「ゲストハウス シクロの家」・「なみかた海の交流センター」の機能強化等を見据え、商品展開のバリエーションを多様化する。

○しまなみの波・山・そして時間を感じるオリジナル商品の開発

○シクロテイストを感じる他社商品の委託販売を検討

### ② 商品販売

当会の顔となっている「島走」商品の戦略的販売（「島走」の一部は当会の商標）

「島走 BOOK」「島走 MAP」「島走 T シャツ」の販売数を高める。

※販売数を伸ばし、製造コストを抑え、収益につなぐ。

○店頭販売の実現

○インターネットショッピングの立ち上げ

## 1 5. シクロカフェ

「なみかた海の交流センター」内にシクロカフェをオープンした。これまで移動式（イベント型）での提供に留まっていたが、「ゲストハウス“シクロの家”」での日常的なサービス提供と合わせ、事業化に踏み切った。ドリンクメニューの提供からはじめ、今期はフードメニューの試作を行い、提供した。



おとなも子どもおいしさ満足！自転車乗りのお腹も満腹！

**しまなみ新鮮野菜のキーマカレー**  
フルーティーな味わいが癖になるおいしさです。  
¥850- (単品)  
¥1,000- (ドリンクセット)



**瀬戸内のじゃこピッツァ**  
瀬戸内・結智さんの自家製じゃこ味噌を使用。季節の地野菜をたっぷりトッピング。  
¥850- (単品)  
¥1,000- (ドリンクセット)



**りんごとゴルゴンゾーラのデザートピッツァ**  
ゴルゴンゾーラとリンゴの酸味がハチミツが絶妙です。トリコになるおいしさです。  
¥850- (単品)  
¥950- (ドリンクセット)



**ハニートースト  
バニリアイス添え+あんこ**  
厚きパンがサイクリストに人気！お子さまのおやつにもぴったり！あつという間に食べちゃうおいしさです。  
¥500- (単品)  
¥650- (ドリンクセット)



● セットのドリンクはコーヒー (HOT/ICE) ・紅茶 (HOT/ICE) からお選びください。

代金は全て現金み価格です



リラックスタイムを美味しいドリンクをお供にお楽しみください。

### COFFEE コーヒー



**フレンチプレス珈琲 (HOTのみ)** ¥500-  
フレンチプレスで丁寧に淹れるスペシャルティコーヒー。豆本来の風味が楽しめます。

**オリジナルブレンド珈琲 (HOT/ICE)** ¥400-  
選りすぐりの豆をブレンドし、独自の焙煎技術で仕上げたオリジナルブレンドとココのある牛乳でつくりました。

**カフェオレ (HOT/ICE)** ¥500-  
選りすぐりのエスプレッソブレンドとココのある牛乳でつくりました。  
●豆乳でもできます！

### J&A 紅茶



**てっぺん紅茶 (HOTのみ)** ¥500-  
久万高原町で栽培された有機紅茶。ストレートで紅茶本来のおいしさをどうぞ

**アッサム (HOT/ICE)** ¥400-  
ミルクティにおすすめです。

**アールグレイ (ICE)** ¥400-  
ベルガモットの香りがさわやかなフレーバーティ。つめたく冷やしたストレートがおすすりめ！

**豆乳アレンジ**  
プラス100円で牛乳を地元の豆腐屋さんの美味しい豆乳に変更することができます。



**アイスクリームトッピング**  
プラス100円でアイスクリームをトッピングできます。おいしさ2倍！

**島探れイチゴのスムージー** ¥400-  
天然イチゴを使った手作りのスムージー。ミゆくたっぷりでお子さまにも大人気。

**甘夏アイスティ** ¥400-  
伯方島出身の紅茶研究家・磯藤氏ご考案！手取り果汁の爽やかな味わい。

**まるごとブルーベリースカッシュ** ¥400-  
島産のブルーベリーのオリジナルソースをスカッシュで！果実ごとどうぞ。

**黒ゴマバナナスムージー** ¥400-  
カラダにいいはちみつ入り！おいしく飲んでキレイになるスムージーです。  
●豆乳でもできます！

**クリアミントティー** ¥400-  
天然ミントと生薬。自家製ミントをたっぷり使ったドリンク。ジンジャーの甘味をお楽しみください。

**Wilkinson ジンジャーエール** ¥300-  
お子さま OK! のレッドベルと大人におすすめ辛口ブラウンベル

**100% ミカンジュース** ¥300-  
柑橘王国・愛媛！多種ある中からセレクトしました！酸みかんをまるごと絞った贅沢な味わいをどうぞ。

**村瀬豆腐店の極旨豆乳** ¥300-  
遠方町の老舗豆腐店の搾りたて！最高級大豆を使った本物の味をどうぞ。



代金は全て現金み価格です

## 16. 自転車まちづくり

### ①講師派遣

しまなみ自転車振興等に関することについて、依頼に基づき、講師を派遣した。

平成 27 年 4 月 26 日 (日)	松山市サイクリング協会	「松山市サイクリング協会」定例総会において基調講演。しまなみサイクリングの魅力、サイクリストの受入基盤整備を紹介し、関心が高いガイドの役割などを伝えた。
平成 27 年 6 月 17 日 (水)	LIFECREATION SPACE OVE	OVE 主催 第 4 回「自転車まちづくり」地域交流会での事例紹介を担当。これまでの交流会で多くの地域で課題にあがった、住民の巻き込み方をテーマにディスカッション。
平成 27 年 6 月 26 日 (金)	公益財団法人日本 交通公社	「平成 27 年度観光地経営講座」において、講義を担当。地域におけるインバウンド誘致、受け入れの具体的な取り組みと課題について紹介した。
平成 27 年 7 月 6 日 (月) ※総会参加	国土計画協会地域 連携推進団体協議 会	地域連携をベースに活動を進める団体のネットワーク会議の世話人としての参加。地域を超えた連携を促し、それぞれの団体の事業推進に資することを確認。
平成 27 年 7 月 22 日 (水)	双海人(ふたみんち ゆう)	双海地区のまちおこしを行うネットワーク組織へ向けた講義を担当。まちづくりの観点から自転車を活用してきたしまなみの経緯、参画型まちづくりの大切さを伝えた。
平成 27 年 8 月 2 日 (日)	人間と性教育研究 協議会	3 日間かけて、性教育による人権を考える「第 34 回全国夏期セミナー全国大会 in 道後」のオプション講義を担当。タンデム自転車の世界旅を通しての気づきを紹介した。
平成 27 年 9 月 30 日 (水)	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協 議会	シニア世代を対象にした自転車新文化の普及促進を目的とした講演会へ登壇。自転車の魅力、スポーツバイクを利用した健康増進などを紹介した。
平成 27 年 11 月 4 日 (木) 11 月 10 日 (火)	愛媛大学附属中学 校	愛媛県が力を入れる自転車による観光振興の取組、しまなみ海道サイクリングの魅力を体験型で学ぶ授業を担当。授業を選択した 40 名余りに講義とサイクリング体験アテンドを行った。
平成 27 年 11 月 26 日 (木)	沖縄県北部広域市 町村圏事務組合	沖縄県北部エリアにおける修学旅行誘客と一般観光客誘致の方策の両輪を検討する会議のアドバイザー。ツールド沖縄の開催地という利点をいかせないかを検討。
平成 27 年 12 月 11 日 (金)	愛媛県男女共同参 画グループ	愛媛県立今治北高等学校からの要請で、高校生を対象とした男女共同参画キャリア支援講座を担当。性別を問わず、自らの意思で社会のあらゆる分野の活動に参画する意義を紹介した。
平成 28 年 1 月 21 日 (木)	四国ツーリズム創 造機構	「観光まちづくり」を担う地域リーダー養成を主目的とする学科の講義を担当。観光とまちづくりの関係を整理し、地域活性推進に役立つ観光振興の意義などを講義した。
平成 28 年 2 月 16 日 (火)	株式会社 JTB 北海 道 札幌法人事業 部	JTB 旅ホ連北海道支部連合会道央支部研修団を対象に、しまなみ海道自転車まちづくりを紹介。住民参画型で進めたサイクルオアシスへの共感が寄せられた。

## ②視察受入

自転車を活用した地域活性化などについて、事前予約制で個別相談、視察を受け入れた。

平成 27 年 6 月 24 日 (水)	西予ジオパーク実 行委員会	サイクリング in 四国の企画・運営を担う実行委員会向けに、自転車を活用した地域活性化などについて情報交換。
平成 27 年 7 月 13 日 (月)	株式会社スポーツ & ソーシャル総合 研究所	「自転車親和性の低いライト層の取り込み施策やサイクリストの利用施設等の運営について、これまでの取り組みについてヒアリング。
平成 27 年 8 月 25 日 (火)	サイクルシティ喜 多方協議会 旅館「俵屋」	自転車による観光振興のヒントとして、サイクルオアシス整備のプロセスを紹介。ゲストハウスを拠点にした自転車旅行者の受け入れを意見交換。
平成 27 年 10 月 22 日 (木)	北海道上川管内町 村会	上川管内町村会合同視察研修会の受入。サイクルツーリズム振興の可能性について、意見交換。ガイドツアー、ゲストハウス運営の事例と合わせ、住民参画型のまちづくり活動の意義を共有。
平成 27 年 10 月 30 日 (金)	トヨタ自動車株式 会社	社内の自由研究活動の一環として、「しまなみ海道の自転車によるまちづくり」を研究中。住民参画型ですすめたまちづくりのプロセスを説明した。
平成 27 年 11 月 1 日 (日)	株式会社御祓川	石川県七尾市でサイクリングツーリズムの企画を進めるにあたっての調査。行政が行うハード整備、大会実施と民間の独自性ある取り組みの両輪について説明した。
平成 27 年 11 月 12 日 (木)	小林市議会 明倫会	宮崎県内では自転車政策の息吹が起こっており、小林市市議会の一派による視察があった。持続可能な地域振興に通じる市民参加型のまちづくりについて紹介した。
平成 27 年 11 月 15 日 (土)	北海道スイスモビ リティ	自転車による観光振興のヒントを求めてのご来訪。サイクルツーリズム振興の可能性について、意見交換。ガイドツアー、ゲストハウス運営の事例と合わせ、住民参画型のまちづくり活動の意義を共有。
平成 27 年 11 月 27 日 (金)	高知県産業振興推 進部 計画推進課	自然環境をいかしたサイクルツーリズムについて意見交換。しまなみ海道を入り口に四国全域への自転車ルートの特長の可能性を意見交換。周遊ルートの発信を共有した。
平成 27 年 11 月 27 日 (金)	高知県西部地域支 援企画員	高知県の 9 市町の職員による視察受け入れ。エリア内の町村の連携の手段として、自転車まちづくりの可能性を検証。しまなみの自転車まちづくり活動を紹介し、意見交換した。
平成 28 年 2 月 17 日 (水)	守山市役所 地域 振興課	当会の活動の概要を紹介。ツアーの企画・販促・運営を中心に、団体の経営への質問が寄せられた。官民一体型での協働パートナー構築を目指すヒントの交換となった。

## 8. 審議会・委員会・意見交換会への参加

しまなみの自転車振興や関係機関との連絡調整等に関する会議等に参加した。

平成 27 年 8 月 6 日 (木) 9 月 14 日 (月)	今治市中心市街地再生基本計画策定委 員会 今治市商工振興課主催	平成 21 年度に策定した「中心市街地再生基本構想」を実現する「第二期基本計画」を示す諮問機関。
平成 27 年 10 月 30 日 (金) 12 月 3 日 (木) 平成 28 年 1 月 21 日 (木)	サイクルシティ構想策定委員会 今治市観光課主催	サイクリングを中心にしたまちづくりを推進するための方向性を示す諮問会議。「愛媛マルゴト自転車道」との連携、情報発信などの展開及び市内のステーション機能、サービス・おもてなし拡充などの施策を提案。

## 10. 会議に関する事項について

### (1) 総会

#### ① 第7回通常総会

日時:平成27年4月25日(土)18:30～ 会場:今治市民活動センター 大会議室

議題:○2014年度事業報告・収支決算報告 ○役員の退任 ○2015年度事業計画・収支予算の報告

### (2) 理事会

第1回 日時:平成27年4月8日(水)12:45～ 会場:今治市民活動センター 大会議室

議題:○2015年度事業計画・活動予算の件 ○役員・有給役員の件 ○総会に付すべき事項の件

★スタッフミーティング:ゲストハウス3月の状況と4月の目標・2015年度事業担当者の決定

第2回 日時:平成27年5月7日(木)12:45～ 会場:今治市民活動センター 大会議室

議題:○「シクロの家」メディア発表の件 ○集客力支援補助事業申請の件 ○船活用ツアー等の件

★スタッフミーティング:ゲストハウス5月の状況と6月の目標

第3回 日時:平成27年6月8日(月)12:45～ 会場:今治市民活動センター 大会議室

議題:○別子銅山遺産巡りサイクリングの件 ○スタッフ雇用の件

★スタッフミーティング:ゲストハウス6月の状況と7月の目標

第4回 日時:平成27年6月30日(火)12:45～ 会場:今治市民活動センター 大会議室

議題:○補助金申請の件(オアシス追加整備) ○モニターツアーの件 四国整備局事業

★スタッフミーティング:ゲストハウス7月の状況と8月の目標

第5回 日時:平成27年9月1日(火)12:45～ 会場:今治市民活動センター 大会議室

議題:○アウトドアフィットネスフェスティバルの件○ウェルカムしまなみ推進事業の件

★スタッフミーティング:ゲストハウス8月の状況と9月の目標

第6回 日時:平成27年9月23日(木)16:00～ 会場:なみかた海の交流センター

議題:○こぐウェイ四国の件○まちなか移住交流推進事業進捗の件

★スタッフミーティング:ゲストハウス9月の状況と10月の目標

第7回 日時:平成28年3月27日(日)16:00～ 会場:なみかた海の交流センター

議題:○2015年度事業計画・活動予算の件○役員の件

★スタッフミーティング:ゲストハウス10以降の状況と4月以降の目標